



地域運営学校

まつぎ



学校評価アンケート号
令和7年11月14日
八王子市立松木小学校
校長 河村 真奈美



携帯から
学校HP
がご覧に
なれます。

令和7年度 学校評価アンケート（前期）の結果について

7月に実施しました学校評価アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。学校運営協議会とも協議し、アンケート結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	肯定的回答	R6 12月 肯定的意見
1	学校の経営方針（松木を愛する子、強い心と体の子、協力する子）を知っている。	73.7%	26.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	99.0%
2	学校は、特色ある取組（強い心と体の子）を行っている。	44.2%	46.3%	4.2%	1.1%	4.2%	90.5%	86.5%
3	本校が、松木中学校、長池小学校と合同で行う取組（小中一貫教育）を知っている。	76.0%	21.9%	2.1%	0.0%	0.0%	97.9%	97.4%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	80.2%	17.7%	0.0%	1.0%	1.0%	97.9%	97.9%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	56.8%	34.7%	1.1%	2.1%	5.3%	91.6%	91.2%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	45.3%	35.8%	1.1%	1.1%	16.8%	81.1%	88.0%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている	62.8%	29.8%	0.0%	1.1%	6.4%	92.6%	90.7%
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	64.6%	31.3%	0.0%	1.0%	3.1%	95.8%	90.2%
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	54.2%	32.3%	1.0%	1.0%	11.5%	86.5%	82.8%
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	56.3%	40.6%	0.0%	1.0%	2.1%	96.9%	92.2%
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	70.8%	22.9%	3.1%	1.0%	2.1%	93.8%	94.8%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	52.1%	35.4%	1.0%	1.0%	10.4%	87.5%	85.5%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	74.0%	24.0%	2.1%	0.0%	0.0%	97.9%	95.3%
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対するの教育）に取り組んでいる。	45.8%	28.1%	3.1%	1.0%	21.9%	74.0%	76.7%
15	学校では、分かりやすい授業が行われている。	58.3%	36.5%	1.0%	0.0%	4.2%	94.8%	86.5%

(1) アンケート全体にかかわることについて

この度は、学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。昨年度同様、多くの項目で肯定的な評価をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。一方で、肯定的評価が80%を下回った項目につきましては、貴重なご意見として受け止め、早急に原因を究明し、具体的な改善策を講じてまいります。また、自由記述欄には、お褒めの言葉や感謝のお言葉を多数お寄せいただき、教職員一同、大変励みになっております。重ねてお礼申し上げます。

なお、今回の回答率は28%でした。より多くの皆様のお声を学校運営に反映させるため、また、より良い教育環境を築くためにも、後期（12月実施予定）の学校評価アンケートでは、より一層多くの保護者の皆様にご理解とご協力をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

(2) 肯定的評価が高くなった（令和6年後期と比較）設問について

①設問8「学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。」について

この項目につきましては、95.8%の肯定的評価をいただきました。これは、令和6年後期の学校評価アンケートと比較して5.6ポイント上昇しています。

本校では、児童生徒一人一台の学習用端末としてChromebookを導入し、多岐にわたる教科や学習活動の場面で活用した学習を実践しております。また、一部の教科ではデジタル教科書も積極的に活用し、児童生徒のノートなどを書画カメラで拡大提示して、全員で思考を共有するなどの工夫も重ねています。

今後もこれらのICTの活用をはじめとした学習の工夫を継続し、より効果的で質の高い学習活動を目指してまいります。

②設問15「学校では、分かりやすい授業が行われている。」について

この項目につきましては、94.8%の肯定的評価をいただきました。これは、令和6年後期の学校評価アンケートと比較して8.3ポイント上昇しています。

本校では今年度、算数科における「主体的に学習に取り組む児童の育成」をテーマに教員の校内研究を行っています。9月には武蔵村山市の指導教諭の師範授業を見て学び、授業改善に励んでいます。

今後も、児童が主体的に学習に取り組むためにはどのような指導を行えばよいか研究を深め、日々の授業に反映していけるようにしてまいります。

(3) 肯定的評価が低い設問及び低くなった（令和6年後期と比較）設問について

①設問6「学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。」について

この項目では、81.1%の肯定的評価をいただいておりますが、昨年度の後期と比べ、6.9ポイント下がっています。また、「わからない」という評価も16.8%もあることから、いじめ防止に対する皆様の期待に応えられていない、あるいは学校の取り組みが十分にお伝えできていないことを示しており、学校として大変重く受け止めております。

本校では、毎週木曜日を5時間授業に設定し、その後の時間に「学校いじめ対策委員会」を実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいます。また、毎月「こころの日」を設定し、毎月のテーマに沿って、各学級で道徳の授業をしたり、全校朝会で話をしたりする中で、児童の豊かな心を育もうとしています。

今後もいじめの問題に真摯に向き合い、全ての子供たちが安心して学校生活を送れるよう、教職員一丸となって改善に努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

②設問14「学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。」について

この項目につきましては、74.0%の肯定的評価をいただいておりますが、80パーセントを大きく下回るとともに、昨年度の後期と比べても2.7ポイント下がっています。また、「わからない」という評価も21.9%あることから、この結果は、特別な支援を必要とするお子さんへの支援体制や、その取り組みに対する情報提供が不足していると考えられます。

本校では、全てのお子さんが学びやすいように、ユニバーサルデザイン(UD)の視点を取り入れた

環境と指導の工夫により、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行っています。

例えば、授業への集中維持が難しいお子さんに対しては、視覚的な刺激を減らすため、黒板周辺の環境を整えるなどの環境調整を行っています。また、聴覚からの情報だけでは理解が難しいお子さんには、視覚教材や具体的な活動を取り入れ、理解の定着を図る工夫をしています。

さらに、対人関係において困難が見られるお子さんや、感情の調整が苦手なお子さんに対しては、特別支援教室（チャレンジ）において、ソーシャルスキルトレーニングを通じてコミュニケーション能力の習得を促したり、気持ちを適切に表現・伝達するトレーニングを実施したりしています。これらの個別最適な支援を進めるため、スクールカウンセラーや巡回心理士などの専門家による観察や助言を受け、専門的かつ組織的に特別支援教育を推進しております。

支援が必要なお子さんについては、必要に応じてサポーターの配置も検討できます。お子さんのことでご心配な点がございましたら、担任を通して、いつでもご相談ください。

（４）自由意見より（学校全体にかかわること、複数意見についての回答）

●算数の授業を習熟度別で行ってほしい。

1学期中の教員の退職に伴う配置転換により、算数の授業を学級で行わざるを得ない状況が続いており、ご心配やご迷惑をおかけしました。9月16日付けで臨時的任用教員が1名配置されたことで、現在は3年生以上で習熟度別の授業を行うことができます。

●学校だよりや献立表は印刷したものを配付してほしい。

本校では、環境への配慮などの観点から、配布物のペーパーレス化を実施しています。保護者の皆様の利便性を考えると、印刷したものを配付してほしいというお気持ちは重々承知しております。しかし、全家庭に確実に配付することができる（学校に忘れる、ランドセルに入れたままにしてしまうといったことがなくなる）、消耗品費（コピー用紙、インク、トナーなどの印刷コスト）の削減によって限られた予算をよりよい教育活動のために使用できる、といった、環境への配慮だけでないペーパーレス化の利点を考えると、今後もペーパーレス化を継続していきたいと思っております。

なお、ご家庭の状況等により、どうしても印刷したもの（紙媒体）での配布が必要な方は、お手数ですが学校までお知らせください。